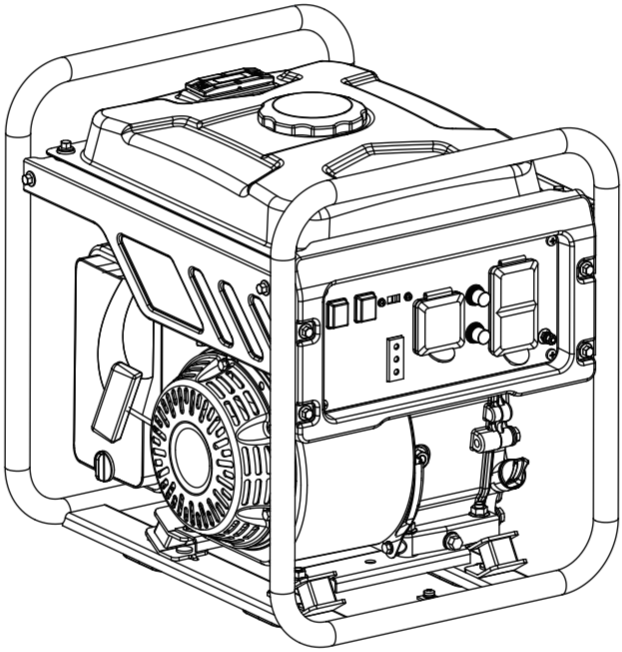
EENOUR



インバーター発電機GT4500iO-3
取扱説明書

はじめに

このたびはEENOURインバーター発電機GT4500iO-3をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

安全に関する表示について
本書では、運転者や他の人が傷害を負ったりする可能性のある事柄を下記表示を使って記載し、その危険性や回避方法などを説明しています。これらは安全上特に重要な項目です。必ずお読みいただき指示に従ってください。

⚠ 危険	人が死亡または重傷などを負う可能性が高いと考えられる内容です。
⚠ 警告	人が死亡、または重傷などを負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	人が損傷を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容です。
⊘ 禁止	取扱においてその行為を禁止します。
ⓘ 指示	指示に基づく行為を強制します。

この取扱説明書は、仕様変更等によりイラスト、内容が一部実機と異なる場合があります。

目次

安全にご使用いただくため ····· 01~02
各部の名称と取り扱い ····· 03~07
運転前の点検 ····· 08~10
発電機のかけ方 ····· 11
電気の取り出し方 ····· 12
点検・整備の仕方 ····· 13~15
運搬する場合には ····· 16
一時保管・長期保管 ····· 17~18
不具合時の対応 ····· 19
製品仕様 ····· 20
配線図 ····· 21
保証期間およびお問い合わせ ····· 22
保証書 ····· 23

安全にお使いいただくために

運転、保守、点検の前に必ずこの取扱説明書、および商品本体に貼付されているラベル全てを熟読し、正しくご使用ください。商品の知識、安全の情報そして注意事項の全てに習熟してからご使用ください。

⚠ 危 険

燃料補給時など燃料取扱時には、火気厳禁
タバコを吸ったり、炎や花火などの火気に近づいたりしないでください。燃料はエンジンを止めてから補給してください。燃料への引火や火災の原因となります。

本機付近に障害物や危険物、燃えやすい物を置かない
建物およびその他の設備から1m以上離して設置してください。火災や故障の原因となります。

燃料をこぼさない
燃料がこぼれた場合は、きれいに拭き取り、乾かしてからエンジンを始動してください。拭き取った布切れなどは、火災と環境に十分に注意して処分してください。

車内、テント内、倉庫など室内およ換気の悪い場所では運転しない
エンジンの排気ガスには有害な物質が含まれているため、ガス中毒を起こす原因となります。

傾斜地で使用しない
平坦・水平で硬い場所で使用してください。また、運搬時は燃料を抜いてください。燃料タンクキャップやキャブレターから燃料がこぼれ、火災の原因となります。

本機の周りにガソリン、または危険物や燃えやすい物を近づけない
本機から出る排気ガスは熱くなります。本機や本機に接続された電気機器に損傷を起こすだけでなく、思わぬ事故を起こす原因となります。

電力会社からの電気配線には絶対接続しない
本機や接続の電気機器を故障させたり、火災あるいは人身事故の原因になります。

雨の中や水のかかる場所では使用しない
雨や水で濡れた発電機や接続の電気機器を使用したり、また濡れた手で操作すると感電するおそれがあり危険です。

⚠ 危 険

❗ 本機を分解、修理、改造しない
取扱説明書に記載されている以外の分解や修理・改造は絶対に行わないでください。異常動作してけがをする、また本機や本機に接続された電気機器が故障する原因となります。

⊘ エンジンを始動させる前に必ず運転前点検を行う
人身傷害や機械の破損を防止することができます。手や足をはさんだり、思わぬ事故が起きる原因となります。

⊘ 長期保管前には燃料タンクやキャブレター内の燃料を抜き取り、本機を火気や湿気、凍結のおそれのない場所に保管する
抜き取った燃料は火災や爆発の原因となりますので、適切に処理してください。

⊘ 点検や清掃時は必ずエンジンを停止し、誤ってエンジンが使用しないように、点火プラグを取り外す
エンジン停止直後のエンジン本体や排気口などは非常に熱くなっています。やけどをしないように、各部が十分に冷えてから作業を行ってください。

⚠ 警 告

❗ 熱くなっている排気口やエンジン各部をさわらない
やけどの原因となります。

⊘ 本体に直接砂ぼこり、粉じん、煤煙などがかかる場所では使用しない
エンジン部品の早期摩耗の原因となります。始動時や運転中は、高圧コードや点火プラグ、点火プラグキャップに触れない感電の原因となります。

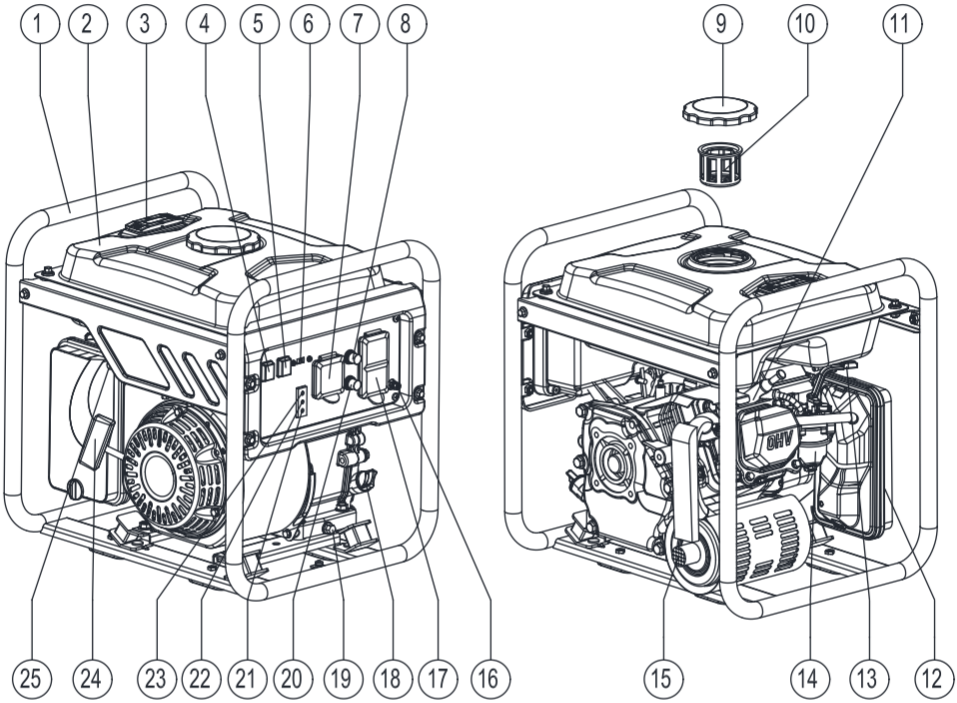
⊘ エンジン部や排気口部が十分に冷えるまで、本機にカバーを掛けない
火災の原因となります。

❗ 使用中に音、振動などで異常を感じたら直ちにエンジンを停止する取り外す
お買い上げ販売店またはサービス店にお申しつけください。燃料が皮膚や衣類にこぼれた場合は、石けんと水で直ちに洗い、衣類は取り替える燃料を飲み込んだり、燃料蒸気を吸い込んだり、燃料が目に入ったりした場合には、直ちに医師の診察を受けてください。

❗ 運搬、保管、運転時のいずれも本機が落下、横倒、破損などしないよう水平を保つ
エンジンが故障したり、残っているガソリンがあふれたりする場合があります。特に運搬時には転倒しないようロープなどでしっかり固定してください。

各部の名称と取り扱い

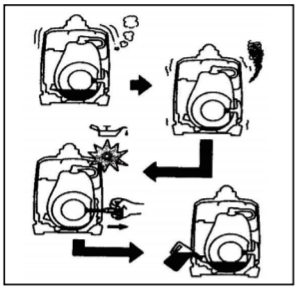
各部の名称



①持ち運び用取っ手	②燃料タンク	③燃料計
④エコスイッチ	⑤エンジンスイッチ	⑥周波数切り替えスイッチ
⑦AC出力コンセント30A	⑧ACプロテクタ20A	⑨燃料タンクキャップ
⑩燃料フィルター	⑪点火プラグ	⑫エアクリーナー
⑬チョークレバー	⑭キャブレター	⑮マフラー
⑯アース端子	⑰AC出力コンセント20A	⑱オイルケージ
⑲オイル排出口	⑳ACプロテクタ30A	㉑出力ランプ
㉒過負荷ランプ	㉓低オイル警告ランプ	㉔リコイルスターター
㉕燃料コック		

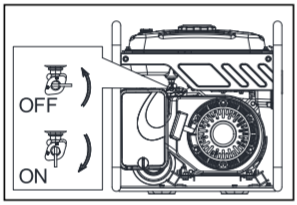
各部の名称と取り扱い

各部の取り扱い



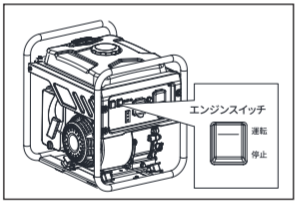
1.オイル警告システム

オイルレベルが下限レベルより低くなると、エンジンは自動的に停止します。オイルを補充しない限り、エンジンは再始動しません。



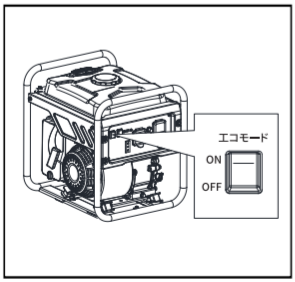
2.燃料コック

燃料の流れを制御し、エンジンの始動、停止を行います。OFF(閉)のままだとガソリンが流れません、エンジンが始動でき ないです。
・ON(開):エンジンをかけるときの位置です。
・OFF(閉):初期状態です。停止および保管、運搬時の位置です。エンジン停止後は必ず燃料コックをOFFにしてください。



3.エンジンスイッチ

点火系統を製御しエンジンの始動、停止を行います。
運転:本機の起動、運転時の位置です。
停止:本機の停止や保管時、運搬時の位置です。

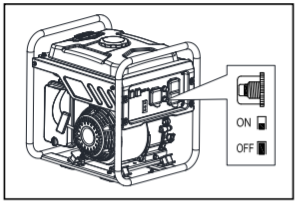


4.エコノミーコントロールスイッチ

・ON(作動):エコモードを使用します。電気機器を使用すると自動的にエンジンは電気の使用量に応じたエンジン回転数となり、電気機器を使用しないときは自動的に低速運転になります。燃料消費と騒音を減らします。
・OFF(解除):エコモードを使用しません。電気機器の使用の有無にかかわらず、エンジンは定格回転で運転します。
コンプレッサー、ポンプもしくは冷蔵庫のような大きな起動電流が必要なデバイスにご使用する場合または負荷が50%を超える場合は、必ずエコスイッチをOFFにしてください。

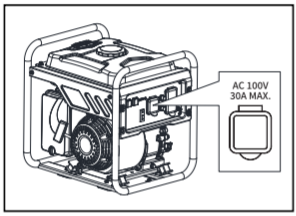
各部の名称と取り扱い

各部の取り扱い



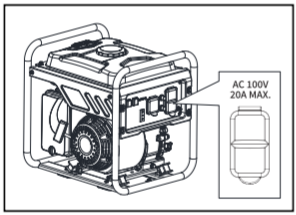
5.ACプロテクタ20A/30A

AC出力コンセントの温度がACプロテクタ(過熱保護装置)に設定された温度を超えた時にACプロテクタボダンが飛び出して“OFF”になり、電気が取出せなくなります。接続配線に異常がないか、また電気の取出し過ぎがないか確認してからACプロテクタを“ON”にします。



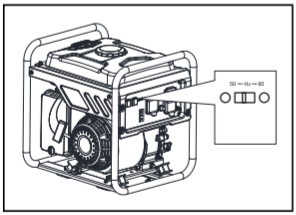
6.AC出力コンセント30A

消費電力が2000W以上の電気機器に給電した場合、このコンセ ントを使ってください。また、NEMA規格L5-30Pに準拠した引 掛プラグ(別売部品)を使用してください。参考プラグ:
・アメリカン電気（株）製3312N-L5
・（株）明工社製MH7153B



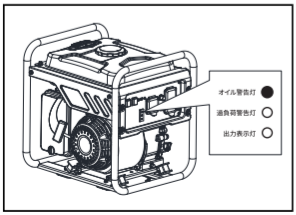
7.AC出力コンセント20A

AC出力コンセント20Aから普通の電気機器に給電可能です。電気機器の消費電力の合計が2000Wを超えないようにしてください。



8.周波数切替スイッチ

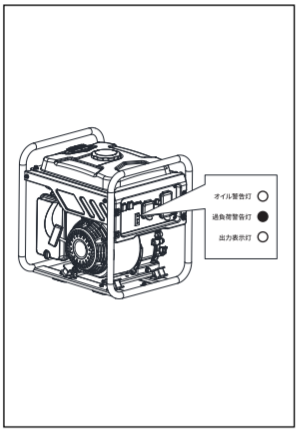
周波数の切り替え(50Hz⇔60Hz)を行うスイッチです。エンジンを始動する前に、接続する電気機器に合わせて周波数を切り替えてください。エンジン運転中に周波数を切り替えることができません。



9.オイル警告灯（赤）

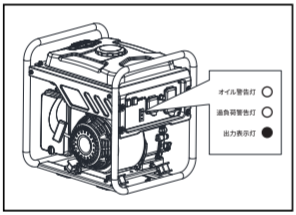
本機にはオイルが少ない場合に自動的にエンジンが停止する　オイルアラート機構が内蔵されています。エンジンオイルが不足し焼付が起こる前にこの機構が働き、エンジンを停止させオイル警告灯が点灯します。その際、エンジンオイルを規定量まで給油して、エンジンを再始動しないでください。

各部の取り扱い



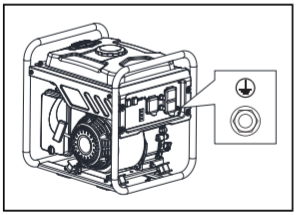
10.過負荷警告灯(赤)

発電中に使用電気機器に異常があった場合や、過負荷のとき出力表示灯が消え過負荷警告灯が点灯し、電気が取出せなくなります。この時点でACプロテクターが作動し、発電機と接続された電気機器を保護するために発電を停止します。出力表示灯(緑)が消え、過負荷警告灯(赤)が点灯しますが、エンジンの運転は停止しません。
※注意：過負荷警告ランプが点灯および出力表示ランプが消灯し、電気が取り出せなくなったとき：
・本機から使用している電気機器を取り外してください。
・電気の取り出しすぎがないか：使用する電気機器は必ず定格出力内で使用してください。
・冷却空気の吸入口でゴミや異物の吸い込み、詰まりが無いよう、注意・点検をしてください。関連するコントロールエレメントに異常が無いか確認してください。
・点検完了後、エンジンを再始動してください。



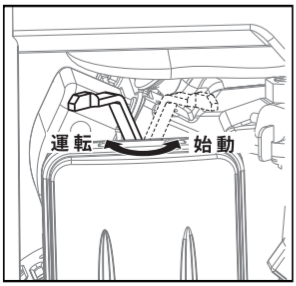
11. 出力表示灯(緑)

発電が始まると点灯します。インバータが使用可能であることを示します。



12.アース端子

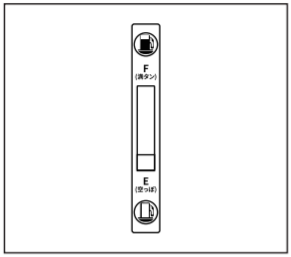
感電防止のアース線を取り付ける端子です。本機に接続する電気機器がアース付きプラグの場合は、本機も必ず接地(アース)してください。



13.チョークレバー

エンジンに入る空気量を調整し、エンジンを始動させる際に使用します。
・始動：エンジンが冷えている状態からエンジンをかけるときの位置です。リコイルスターターグリップを引き、エンジンがかかりしばらくしたら、「運転」の位置にしてください。
・運転：エンジンが温まっている状態（再始動、夏季など）からエンジンをかけるときの位置です。

各部の取り扱い



14.燃料残量計

燃料の残量を示すものです。

F(満タン):ガソリンを満タンにするとF（Full）の位置を指します。

E(空っぽ):ガソリンが減るにつれてE（Empty）に近づきます。燃料計がE（空っぽ）になる前に、できるだけ早く燃料を補給してください。

運転前の点検

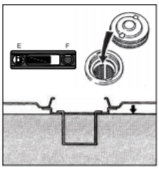
本機には「燃料」と「エンジンオイル」の2種類が必要です。下記をよくお読みいただき、必ず給油してからご使用ください。

燃料の給油

燃料タンクキャップを外し、燃料を給油します。作業は本機を水平にして行ってください。2回目以降の使用時:中にガソリンが残っていても劣化している恐れがあります。30日に1回、新しいガソリンに交換してください。

使用燃料:
無鉛ガソリン(自動車用レギュラーガソリン)

燃料タンク容量:
6.8L(赤レベルまで)



⚠ 警告

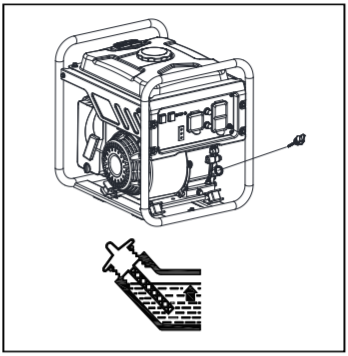
禁止	・給油中は、タバコの火や他の火種になるようなものを近づけないでください。また、金属部に手を触れるなどして、身体に帯電した静電気を除去してから給油作業を行ってください。 ・エンジンが熱い時は給油しないでください。エンジン停止直後などエンジンが熱い時に給油すると引火のおそれがあります。
指示	・給油は、換気の良い場所でエンジンを停止してから行ってください。 ・燃料を飲み込んだり、燃料蒸気を吸い込んだり、または燃料が目に入ったりした場合は、直ちに医師の診断を受けてください。また燃料が皮膚や衣類にこぼれた場合は石鹸と水で直ちに洗い、衣類は取り替えてください。 ・必ず無鉛レギュラーガソリンを補給してください。高濃度アルコール含有燃料を補給すると、エンジンや燃料系などを損傷する原因となります。

⚠ 注意

禁止	・燃料は規定量以上(ストレーナの赤レベル以上)、給油しないでください。燃料が漏れるおそれがあります。 ・軽油、灯油や粗悪ガソリンなどを補給したり、不適切な燃料添加剤は使用しないでください。エンジンなどに悪影響を与えます。 ・古い燃料は使用しないでください。携行缶などで長期保管したガソリンは、エンジン始動不良や故障の原因となります。
指示	・ガソリンは自然劣化しますので 30 日に 1 回、定期的に新しいガソリンと入れ替えてください。 ・燃料の給油時、燃料タンク内に水・雪・氷・ゴミが入らないように注意してください。また、こぼれたときは、直ちに布きれなどで完全にふき取ってください。 ・ガソリンを一時的に保管・運搬するときは、消防法に適合した携行缶を使用してください。特にペットボトルに保管すると、ガソリン内にペットボトルの成分が溶け出し、エンジンに悪影響を及ぼすおそれがあります。

運転前の点検

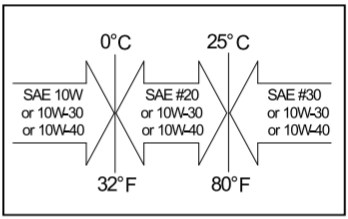
エンジンオイルの給油



1.オイルゲージを引き抜き、一度ウエスで拭き取ります。
2.オイルゲージを差し込んで(注入口からオイルゲージをねじ込まないで)から引き抜き、エンジンオイルが付着している部分の範囲で残量を確認します。
3.オイルゲージにはレベル線がついており、エンジンオイルがレベル線の上限付近まで付着していれば適正量です。

推奨オイル:
4サイクル用エンジンオイル
SAE10W-30もしくは10W-40API分類SE級以上

エンジンオイル規定量:0.6L
規定量以上に入れると白煙が出て、出力に影響を与えます。不足の場合、かかった後しばらくすると停止　になります。
初回のみ、20時間運転後または1ヶ月後にオイル交換を行ってください。 2回目以降は100時間運転後または6ヶ月後にオイル交換を行ってください。



⚠ 注意

禁止	・エンジンオイルを給油しない場合、始動しないでください。オイルを入れ過ぎる場合は白煙が出て、アイドリングが不安定になることがあります。オイルが足りない場合は始動した後にオイル警告ランプが点灯し、直ぐに止まることがあります。
指示	・オイルゲージは確実に締付けてください。締付けがゆるいとオイルが漏れることがあります。 ・初回のみ、1ヶ月後または20時間運転後にオイル交換を行ってください。 2回目以降は100時間運転後、または6ヶ月後にオイル交換を行ってください。

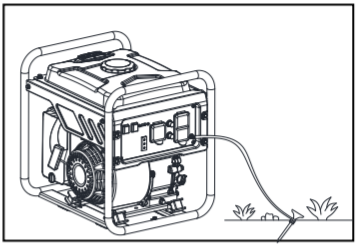
本機周辺の点検

・燃えやすい物（特にガソリンやエンジンオイルなど）や危険物は置いていませんか。
・周囲に火の気はありませんか。
・風通しは良いですか、また換気は十分ですか。
・使用場所が小石、土、砂利等で凸凹していたり、やわらかい場所で使用していませんか。やむを得ず使用する場合は、本機の下に板などを敷いて本機を安定させてください。
・傾斜地で使用していませんか。
・建物および他の設置物から1m以上離れていますか。また、排気口および吸気口は風通しの良い、広い場所に向けてありますか。

運転前の点検

発電機の接地

警告	発電機を使用する前に、ワイヤと小さな金属製アーススパイクを使って、発電機を正しくアースすることをお勧めします。ワイヤとアーススパイクはユニットに付属していません。



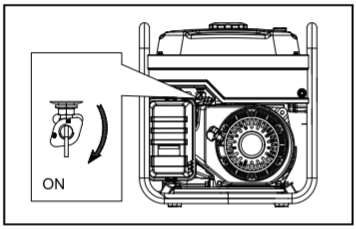
注意	発電機はエンジンオイルなしで出荷しています。オイルを充填しないと、発電機が始動しません。使用前にエンジンオイルを給油して下さい。 エンジンオイルを充填するときに発電機を傾けないでください。発電機を傾斜すると、オイルの過充填やエンジンの損傷につながる可能性があります。

発電機のかけ方

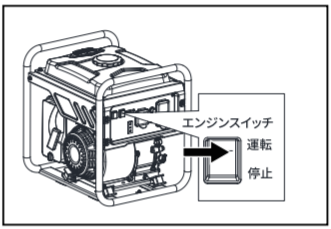
エンジンの始動

⚠ 注意	コンパクトな構造なので、重量も軽いし、起動直後は本体のブレが激しく恐れがあり、チョークレバーを「運転」に移ると正常に戻ります。

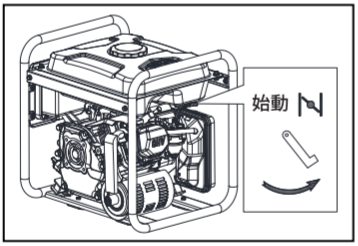
1.燃料コックレバーを「ON」の位置に回します。



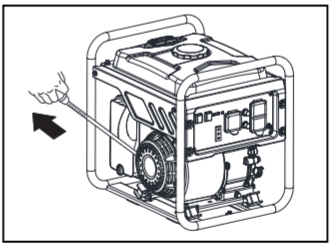
2.エンジンスイッチを「運転」の位置にします。



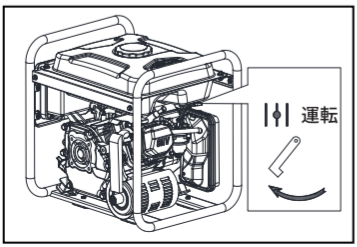
3. チョークレバーを「始動」の位置にします。ただしエンジンが暖まった後の再始動時や環境温度が高い時は直接「運転」の位置にします。



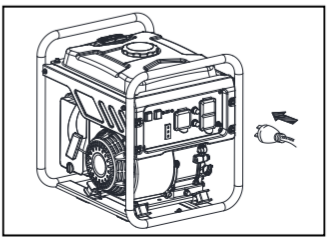
4.リコイルスターターグリップを軽く引き出し、重くなった状態から勢いよく引き、エンジンを起動させます。リコイルスターターグリップは手を添えてゆっくりと元に戻してください。



5.起動後エンジンの回転が安定したら、チョークレバーを「運転」の位置にします。約3へ5分間、無負荷で暖機運転を行なってください。



6.電気器具のスイッチをOFFにします。電気機器のプラグを確実に差込みます。

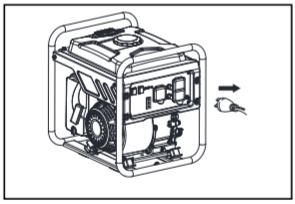


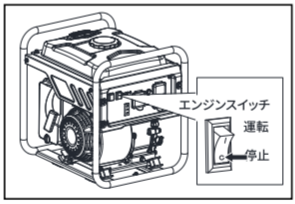
電気の取り出し方

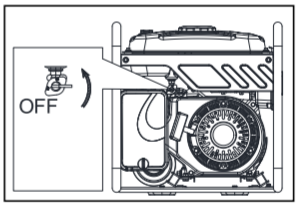
1.周波数切換えスイッチを接続する電気機器の周波数に合わせます。
2.発電機に接続する電気機器を大地にアースした場合は、発電機の本体も必ずアースしてください。
3.「発電機のかけかた」に従ってエンジンを始動します。数秒後、出力表示灯(緑)が点灯していることを確認します。
4.接続する電気機器のスイッチが切れていることを確認し、ACコンセントへ電気機器のプラグを確実に差込みます。
5.電気機器のスイッチを入れます。正常運転(定格負荷)でご使用の場合は、出力表示ランプ(緑)が点灯し続けます。
6.過負荷運転や使用電気機器が異常を起こした場合は、出力表示灯(緑)が消え、過負荷警告灯(赤)が点灯し続け、電気が取出せなくなります。この場合、電気機器のプラグを取り外してください。

エンジンの停止

1.電気器具のスイッチをOFFにします。電気器具のプラグをコンセントから抜きます。
2.エンジンスイッチを[停止]の位置にしてエンジンを停止します。
3.燃料コックを「OFF」にします。
4.3ヶ月以上長期保管する場合は、燃料タンクやキャブレター内の燃料を抜き取り、本機を火気や湿気、凍結のおそれのない場所に保管してください。







点検・整備の仕方

定期点検表

対象部品	点検項目	始業点検	初回の1ヶ月後または20時間運転後	3ヶ月毎または50時間運転毎	6ヶ月毎または100時間運転毎	12ヶ月毎または200時間運転毎
エンジンオイル	・量の点検	●				
	・交換		●※1		●	
燃料	・量、漏れの点検	●				
エアクリーナー	・損傷、劣化の目視と指触による点検	●				
	・清掃			●※2		
点火プラグ	・点検と清掃				●	
	・交換					●
燃料タンクストレーナー	・汚れ、詰まりの目視点検および清掃				●	
マフラーワイヤネット	・清掃				●	
外装	・取り付けボルトのゆるみ確認			●		

※1 初回のみ、1ヶ月後または20時間運転後にオイル交換を行ってください。
※2 ほこりの多い場所で作業した場合は、定期点検時期より早めに点検を行ってください。

エンジンオイルの交換

1.発電機を平らな場所に置き、エンジンを数分間作動させ、暖めます。次に、エンジンを停止し、燃料コックノブを「OFF」にします。
2.エンジンの下にオイルパンを置きます。.オイルフィラーキャップとオイル排出口をゆるめてはずしておきます。図.1
3.発電機を傾けてオイルを完全に排出します。
4.発電機を再度に平らな平面に置きます。
5.エンジンオイルが上のレベルラインに達すまで、補給します。図.2
6.オイルフィラーキャップを取り付けます。
推薦されるエンジンオイルAPI サービス「SJ」図.3

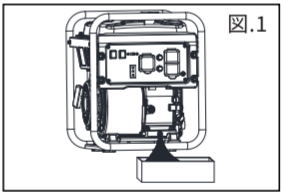


図.1

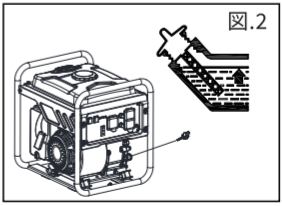


図.2

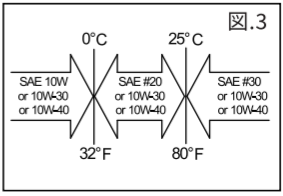


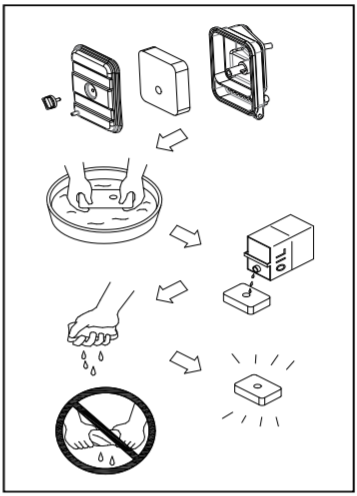
図.3

注意	異物がクランクケースに入らないようにしてください。エンジンオイルを添加するときに発電機を傾けないでください。 過充填やエンジンの損傷につながる可能性があります。

点検・整備の仕方

エアクリーナーエレメントの清掃

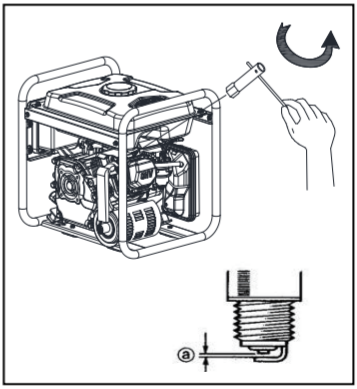
1.スクリュをゆるめて、エアクリーナーカバー を取り外します。
2.エレメント(空気ろ過部)を取り外します。
3.きれいな灯油でエレメントを洗浄します。洗浄後、エレメントを布で包み押しつぶすようにしぼります。
4.エレメントをエンジンオイルにひたし、押し つぶすようにしぼります。オイルが垂れない 程度に余分なオイルを取り除いてください。
5.エレメントをエアクリーナー本体にはめ込 みます。エアクリーナーカバーを元の位置に戻し、スクリュを締め付けます。



注意	フィルターエレメントがない状態で、エンジンを絶対に始動しないでください。過度のピストンおよびシリンダーの磨耗が起こる可能性があります。

点火プラグの点検と清掃

1.プラグレンチハンドル、プラグレンチで点火プラグを取外します。
2.スパークプラグの焼け具合を点検します。電極付近は通常キツネ色に焼けますが、黒くくすぶってい たり白く焼けていたときはパーツクリーナーまたはワイヤーブラシで汚れ(カーボン)を落とします。
3.電極のすき間を確認し、下記寸法になっていない場合は調整します。中心電極をこじらないでくださ い。破損する恐れがあります。
指定点火プラグ: F7RTC(TORCH)
電極のすき間: 0.6へ0.7mm
4.取り付けはまず手で一杯までねじ込み、次にプラグレンチで確実に締付けます。点火プラグキャップを点火プラグに確実に取付けます。

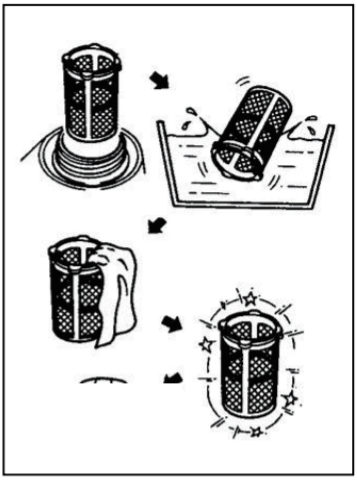


注意	標準電極色：タンカラー 標準点火プラグ：F7RTC (TORCH) 点火プラグギャップ：0.6-0.7mm (0.024-0.028インチ)

点検・整備の仕方

燃料タンクストレーナーの清掃

1. 燃料タンクのキャップとフィルターを取り外します。
2. フィルターを溶剤で拭き、清潔します。損傷している場合は新品に交換してください。
3. フィルターを拭いて挿入します。

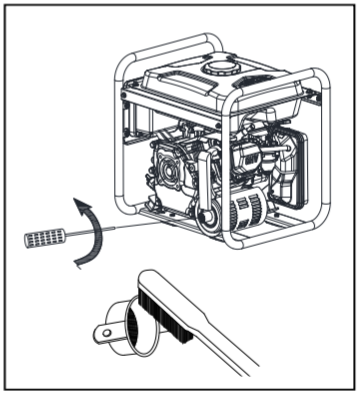


注意	タンクキャップがしっかり締められていることを確認してください。

マフラーキャップの清掃

注意	エンジンが作動した後、エンジンとマフラーは非常に熱くなります。点検や修理の際は、エンジンがまだ熱いうちに身体や衣服のあらゆる部分でエンジンやマフラーに触らないでください。

1.マフラーキャップを取り外します。
2.ワイヤーブラシ(市販品)を使用してマフラーキャップの汚れやカーボンを取り除きます。
3.マフラーキャップを取り付けます。

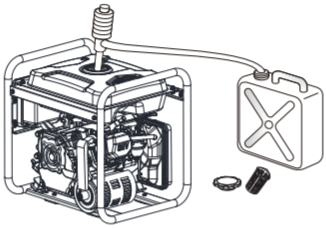


運搬する場合には

発電機を自動車・トラックなどの車両で運搬する場合は、以下を必ず守ってください。

運搬の場合

1.エンジンスイッチを「停止」の位置にします。
2.燃料コックを「OFF」の位置にします。
3.燃料タンクキャップおよびストレーナを取り外し、市販の手動式ガソリン用ポンプを使用して燃料を抜きます。なお、電動式ポンプは使用しないでください。



4.燃料タンクキャップおよびストレーナを取り付けます。
5.本機が落下、転倒、破損などしないような場所を選んで積載し、ロープなどでしっかり固定します。

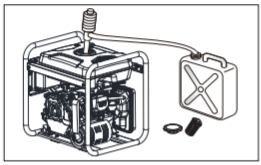
⚠ 警告	
禁止	・振動、衝撃などで燃料タンクの燃料がこぼれるおそれがありますので、燃料タンクに燃料を給油したまま運搬しないでください。 ・燃料が気化して引火するおそれがありますので、発電機を車内やトランクなどに積載したまま、長い時間直射日光の当たる場所に放置しないでください。 ・火災のおそれあり、車両に積載したまま使用しないでください。 ・発電機の上に重い物を置かないでください。
指示	・火災のおそれがありますので、予備の燃料は消防法に適合した鉄製の携帯タンクに保管してください。 ・本機が移動、横倒、落下、破損などしないような位置に積載してください。特に横倒したまま運搬すると、エンジンがかからなくなるなど、エンジン故障の原因となります。

一時保管・長期保管

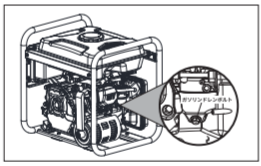
使用後または定期運転後、次回の使用が3ヶ月以降になる場合は「一時保管」を、それ以上長期に渡って使用しない場合は「長期保管」を行ってください。これらを行わないと、故障の原因となります。

一時保管の場合

1.燃料タンクキャップおよびストレーナを取り外し、市販の手動式ガソリン用ポンプを使用して燃料を抜きます。なお、電動式ポンプは使用しないでください。



2.燃料タンクキャップおよびストレーナを取り付けます。
3.燃料タンク内のガソリンを抜いた後、発電機を起動します。(9ページ参照)
4.無負荷運転(電気機器は接続しない)を行ってます。エンジンが「ガス欠状態」で停止するまで待ちます。燃料タンク内の燃料残量によって「ガス欠状態」になるまでの時間は変わります。
5.エンジンが停止しましたら、排出するガソリンを受ける容器を用意します。
6.ガソリンドレンボルトをドライバーで弛め燃料を抜きます。キャブレター内のガソリンを抜かずに長期間放置すると、ガソリンが変質しエンジンがかからなくなる場合があります。

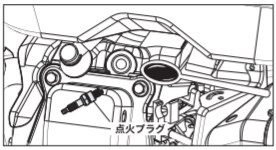


7.ガソリンドレンボルトを締め付けます。
8.エンジンスイッチを「停止」の位置にし、燃料コックを「OFF」の位置にします。
9.室内で湿気が少なく換気の良い場所に保管します。

一時保管・長期保管

長期保管の場合

1.“ 一時保管 ”の1 ～ 8の作業を行います。
2.点火プラグを外し、プラグ孔からエンジンオイルを5～10mL給油します。
3.リコイルスターターグリップを2～3回ゆっくりと引いた後、点火プラグを取り付けます。



4.リコイルスターターグリップを引き、重くなった状態（圧縮状態）にします。
5.各部の水、ほこりなどの汚れをきれいに清掃します。
6.発電機にカバーを掛け、室内で湿気が少なく換気の良い場所に保管します。

不具合時の対応

故障は行き届いた点検整備により未然に防ぐことができます。故障の多くは、取扱いの不慣れや不十分な点検に起因しています。まずご自身で次の点検を行い、その上でなお異常がある場合はむやみに分解しないでお買い上げの販売店にお問い合わせください。

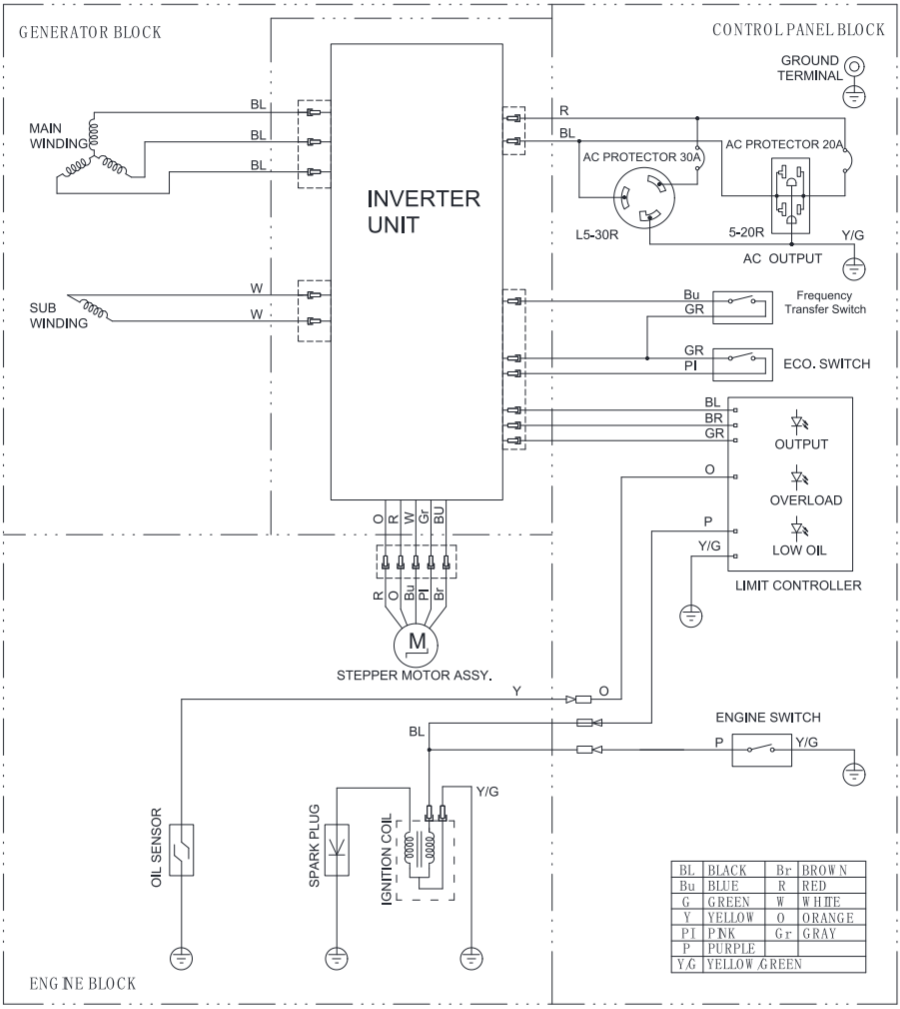
症状	考えられる原因	処置	参照ページ
エンジンが始動しない	ガソリンが入っていない	ガソリンを給油する	8ページ
	オイル警告灯（赤）が点灯している→エンジンオイルが入っていない、量が少ない	エンジンオイルを給油する	9ページ
	エンジンのかけ方に不足などがある	正しいかけ方を再確認する	11ページ 12ページ
	チョークレバーの位置調整る	エンジンが温まっている場合や夏期は「運転」	6ページ
		エンジンが冷えている場合や冬期は「チョーク」	6ページ
	エアクリーナーの汚れ	エアクリーナーの清掃	14ページ
	点火プラグかぶり、汚れ、破損	点検・清掃・交換	14ページ
	本機が傾いている → オイルアラート機構の作動	水平にする	4ページ
	問題のある燃料、エンジンオイルによるエンジン不調	正しい燃料・エンジンオイルに入れ替え	8ページ 9ページ
エンジンが数分動いた後止まる	チョークレバーの位置調整	起動後、チョークレバーを「運転」の位置に戻す	6ページ
	暖気運転が足りない	暖気運転を行う	6ページ
	複数の電気機器を使用するなど急に大きな電気を取り出した	電気を少しずつ取り出す	/
	点火プラグの劣化	点火プラグの点検・交換	14ページ
	キャブレターが詰まっている	キャブレターの清掃	/
マフラーから白煙が出る	エンジンオイルの入れ過ぎ	エンジンオイルを排出して規定量を注入する	9ページ 13ページ
	SA級など、指定以外のエンジンオイルを使用	指定のエンジンオイルを使用する	9ページ
電気が取り出せない	過負荷警告灯（赤）が点灯・点滅、出力表示灯が消灯する	過負荷の原因または使用器具の異常を改善する	6ページ
	水中ポンプ、コンプレッサーなど、起動時に大電流が流れる電気機器を使用する	エコモードをOFFにする	4ページ
	シートをかぶせている、または屋内で使用するなどして本機の温度が高くなっている	本機周辺を点検する、または屋外で使用する	9ページ

製品仕様

仕様		
	モデル	**GT4500iO-3**
発電機	タイプ	インバーター発電機
	AC電圧	100V
	周波数	50Hz / 60Hz
	最大出力	3.85kW
	定格出力	3.5kW
	力率	1.0
エンジン	モデル	XY172F
	タイプ	空気冷却、4ストローク、OHV、ガソリンエンジン
	ボア×ストローク　mm×mm	72×58
	排気量	236 cc
	最大出力	4.8KW/3800rpm
	燃料	無鉛ガソリン
	燃料タンク容量	6.8L
	定格連続運転時間	3時間（100%負荷）
	エンジンオイル	SAE 10W-30
	エンジンオイル規定量	0.6L
	始動方式	リコイルスターター
	点火システム	C.D.I.
	点火プラグ（タイプ）	F7RTC (TORCH)
寸法	本体サイズ　L×W×H	432×370×439mm
	梱包サイズ　L×W×H	450×385×460mm
	正味重量	27.0kg
	総重量	28.5kg

仕様は予告なしに変更されることがあります。

配線図


GENERATOR BLOCK
CONTROL PANEL BLOCK
GROUND TERMINAL
MAIN WINDING
BL
BL
BL
INVERTER UNIT
R
BL
AC PROTECTOR 30A
AC PROTECTOR 20A
L5-30R
5-20R
Y/G
AC OUTPUT
SUB WINDING
W
W
Bu
GR
Frequency Transfer Switch
GR
PI
ECO. SWITCH
BL
BR
GR
OUTPUT
O
OVERLOAD
P
Y/G
LOW OIL
LIMIT CONTROLLER
O
R
W
Gr
BU
R
O
Bu
PI
Br
M
STEPPER MOTOR ASSY.
Y
O
BL
ENGINE SWITCH
P
Y/G
Y/G
OIL SENSOR
SPARK PLUG
IGNITION COIL
ENGINE BLOCK
BL BLACK
Bu BLUE
G GREEN
Y YELLOW
PI PINK
P PURPLE
Y/G YELLOW GREEN
Br BROWN
R RED
W WHITE
O ORANGE
Gr GRAY

保証期間およびお問い合わせ

・本製品の保証期間はお買い上けより1年間となります。
・本製品の仕様は予告なしに変更する場合があります。予めご了承ください。
・本製品は使用電子部品の製造中止で、生産及び販売終了となる場合があります。予めご了承ください。
・本製品のお問い合わせについて、故障など疑われる場合は、次のことをお知らせ下さい。
　・お買い上げ時期
　・ご注文番号と商品の型番
　・故障の状況 (できるだけ詳しく ご説明ください。)
・ご不明な点や故障に関するご相談は、お買い上けの販売店、または下記営業窓口にお問い合わせください。

メールアドレス

support@eenour.com

お電話番号

045-550-7405

受付時間：10：00-13：00、14：30-18：30
(土・日曜、祝祭日・年末年始および当社指定休業日は除く)

保証書

本保証書は再発行いたしません。大切に保管してください。

保 証 書

品　　名	EENOURインバーター発電機
品　　番	GT4500iO-3
購 入 日	年　　月　　日
保証期間	上記ご購入日より１年間（消耗品を除く）
お 客 様	ご住所　〒□□□-□□□□ 電　話　（　　）
	お名前 様

1. 取扱説明書、注意事項などにしたがって正常な使用状態で故障した場合に限ります。
2. 保証期間内に前項に該当する故障が発生した場合に限ります。
3. 消耗品に関しましては、保証対象外となります。
4. 保証期間内でも次の場合は、有料修理となります。
 ＊本書のご提示がない場合や、購入日、販売店名の記載がない場合。
 ＊使用上の誤り、他店・個人での修理、分解、改造、調整による故障等。
 ＊お買い上げ後の移動、落下、天災地変、異常電圧による故障。
5. 保証書の発行により、ご購入者の法律上の権利を制限するものではありません。

免責事項

法律上の請求の原因の種類を問わずいかなる場合においても、本製品の使用または、使用不能から生ずる直接損害、間接損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失等）、特別損害、付随的損害、経済的拡大被害（逸失した利益、ビジネス上の収益、信用あるいは節約すべかりし費用を含む）、他の機器や部品に対するデータの損失または損害、第三者からの賠償請求に基づく損害、身体障害（身体障害に起因する死亡及び怪我を含む）に関して、弊社は一切の責任を負わないものとさせて頂きます。